

節目の12月！

～やり残しのないよう、令和6(2024)年を締めくくろう～

師走に入りました。今年も残すところ1ヶ月となりました。この12月は慌ただしさとともに新年を迎える期待が膨らむ月でもあります。日本には、伝統的な生活習慣のなかに古くからの年中行事というものがあります。12月は、事始め(13日)、冬至(21日)、正月飾り(26～28日)、大晦日(31日)。さらにクリスマスも行事として広く受け入れられています。ちなみにクリスマスは、1900年(明治33年)明治屋が東京の銀座に進出したことを契機に、クリスマス商戦が始まり広まったと言われています。



そこで、今回は「冬至」について、少しお話します。冬至は、一年で太陽が最も南寄り、昼の時間が最も短い日です。太陽の登る高さが最も低くなるため、必然的に日没が早くなるわけです。逆に言うと、この日を境に翌日からは日が徐々に長くなっていきます。冬至の日に、かぼちゃを食べる・柚子湯に入るという古くからの風習があります。冬至に「ん」のつくものを



食べると「運」が呼び込めるということで、にんじん・だいこん・れんこん・うどんなどが食べられています。かぼちゃを漢字で書くと、「南瓜(なんきん)」となります。また、冬至といえば柚子湯！この日に柚子湯に入ると風邪を引かない、と言われています。この由来は、「融通がきくように」という語呂合わせや「冬至と湯治をかけた」など諸説があります。柑橘系の香りも心地よく、お風呂で温まりながら、ゆったり

リラックスするのもいいですね。

さて、12月は、2学期の締めくくりと同時に一年の締めくくりの時期です。「やるべきこと」をしっかりと、次の学期、次の年の準備をします。年が明ければ、現1年生は「新2年生」として、「学校の中心になるという自覚を持ち、自分を磨き、人の気持ちを考えた行動のできる学年集団を作れるように」、現2年生は「新3年生」として、「学校の顔になるという自覚を持ち、自分を伸ばし、仲間を大切に守山南中を作れるように」、そして現3年生は「卒業生」として、「自分で決めた進路先で頑張れるよう、学習や学校生活に臨み、中学校生活の締めくくりができるように」、守山南中学校の全校生徒がいち早く次のステージに立てるよう、しっかりと準備し、新しい年を迎えてほしいと思います。令和7年(2025年)の始まりとともに、全校生徒が、いち早く一つ上の学年やステージへの自覚を持ち、生徒、教職員、保護者が一丸となって、めざすべき自分の姿と集団づくりに向けて、励まし合い、努力を重ね、頑張らしましょう。

2年生が職場体験学習で学びました！

11月7日～13日(7日間のうち5日間)まで、2年生の生徒が市内を中心とした117の事業所や店舗等で職場体験をさせていただきました。学校では学べない体験学習を積み重ねてもらい、本校のキャリア教育の推進に生かされたいと思います。初日は緊張感のあるなか始まったことと思いますが、職場体験4日目5日目



目となると、仕事の内容を自分で考えながら、積極的に取り組む様子が見られたと聞いています。5日間という期間ではありましたが、働くことの大変さや大切さ、働くことの喜びや達成感など、得られるものが多かったことでしょう。今回学んだ、挨拶、礼儀、言葉遣いなど学校生活にも役立てましょう。体験学習終了後には事業所等の方々からも、たいへん熱心に仕事をしていただいた等の声

をたくさん頂きました。事業所の皆さま、ありがとうございました。

守南生が多方面で大活躍

吹奏楽部依頼演奏

11月3日のかつペフェスティバル、10日の



伊勢遺跡まつりに本校吹奏楽部が依頼演奏ということで、参加させていただきました。

3年生の先輩たちから受け継いだ「聴いている人に感動を与える演奏とその活動を通じた人間的成長」をモットーに日頃の練習の成果を披露しました。観客の人たちから大きな拍手をいただきました。

書道パフォーマンス

11月3日のかつペフェスティバル、10日の下之郷遺跡まつりに本校書道部がステージ発表の依頼を受け、



日頃から大切にしている「説得力のある字をめざし」ということで書道パフォーマンスを披露しました。迫力のある演出に大きな拍手をいただきました。

守山市小・中学校音楽会

11月15日に第51回守山市小・中学校音楽会が市民ホールで開催されました。



本校からは全校の代表として1年1組が出場しました。「その先へ」と「星座」の2曲を発表しました。合唱コンクールの時とは違う緊張感のもと、爽やかな歌声を披露しました。

女子2位！近畿大会、全国大会出場

11月15日に希望ヶ丘文化公園で各予選を勝ち抜いた男女41校が参加し、県中学校駅伝競走大会が行われました。



11時10分にスタートした女子は5区12kmコースで行われ、チーム全員が一つとなり、心を込めてタスキをつなぎました。5区では単独2位でタスキを受け、見事入賞しました。成績もさることながら、出場した選手だけでなく、走る仲間にみんなで声をかけ続けている姿がみられ、まさに「チーム守山南中」そのものでチームワークと絆の強さを実感しました。12月1日京都府で開催される近畿大会に出場し、15日には、本県の希望ヶ丘文化公園で開催される全国大会に出場します。健闘を祈ります。「がんばれ、守南！」



12月のおもな予定

- 1日(日) 近畿中学校駅伝競走大会
- 5日(木) 進路検討会
- 6日(金) 進路検討会
- 13日(金) 三者懇談会(～19日) 給食終了
- 15日(日) 全国中学校駅伝競走大会
- 20日(金) 学年集会①1年生④2年生④3年生
- 22日(日) もりやまいち
- 23日(月) 終業式・特別美化
- 26日(木) アンサンブルコンテスト地区予選

1月初めのおもな予定

- 6日(月) 3年生第8回実力テスト
- 7日(火) 始業式
1,2年生実力テスト
- 8日(水) 1,2年生実力テスト
- 9日(木) 生徒会委員会の日 給食開始

令和6年度全国学力・学習状況調査(4/18、3年生対象)の分析より

◎良い点 ▼改善すべき点

【国語】本校平均60.0%

(全国平均は、58.1%)

全国、滋賀県と比較して正答率が高い。正答率に比べて、無解答率が平均より高い。

◎我が国の言語文化に関する事項(古典)の書くこと、読むことの正答率が特に高い。

◎言葉の特徴や使い方に関する事項も高い。

→ 毎時間の授業の初めに漢字の学習に取り組み、毎週末に確認テストを行ったことが要因と考えられる。

▼話すこと、聞くことについての事項が低い。(全国平均より、1.2ポイント低い。)

今後、この課題をふまえて、物語の内容等を議論するなど、双方向のやりとりができるような話し合い活動を増やしていきます。

【数学】本校平均56.0%

(全国平均は、52.5%)

全国、滋賀県と比較して正答率が高い。知識・技能の正答率が高い。

◎「数と式」の分野においては、全国平均より、8ポイント高かった。

→ 章ごとに演習問題に取り組む時間を設け、学び合い、教え合い学習を続けていることが要因と考えられる。

◎短答式の問題形式では、全国平均より、7ポイント高かった。

▼データの活用における設問の正答率が低い。(全国平均より、0.4ポイント高い。)

今後、データ活用のための知識・技能を高めるよう反復学習に力を入れます。

【質問紙調査より】

◎比較的落ち着いた生活習慣が形成されている。

朝食を毎日食べている生徒が多い。ほぼ同じ時刻に寝て起きるというリズムができている生徒が多い。

<肯定的回答の高かった項目>

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。」

本校96.8% 全国95.7%

「人の役に立つ人間になりたいと思う。」

本校94.8% 全国95.2%

「友だち関係に満足している。」

本校89.9% 全国90.1%

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」

本校88.8% 全国90.4%

「人が困っているときは、進んで助けている。」

本校88.4% 全国90.1%

「学校に行くのは楽しいと思いますか。」

本校84.1% 全国83.8%

<肯定的回答の低かった項目>

「将来の夢や目標を持っていますか。」

本校60.5% 全国66.3%

「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」

本校67.2% 全国67.5%

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」

本校71.2% 全国76.1%

保護者の皆様へ

日々の学校生活から自己肯定感を高め、主体的に人生設計をする能力や態度を身につけ、生涯にわたって学び続ける意欲を身につけられるよう、すべての教育活動において引き続き指導支援してまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。ご家庭においても、お子様の社会的自立に向けて、確かな学力に加えて、個性をより良く伸ばして自信をもって歩んでいけるよう、多様な観点からお子様を見守り認め励ましていただきますようお願いいたします。